



## 高岡市へ、市Pからの要望書を提出しました

高岡市PTA連絡協議会の大坪洋輔会長らが、10月4日、高岡市役所を訪れ、角田悠紀高岡市長と近藤智久教育長に令和7年度予算編成に向けた要望書を手渡しました。

要望書は、小・中学校、義務教育学校および特別支援学校のPTAから寄せられた意見を基に、市P連がまとめたもので、「教育環境関連」に4項目、「施設関連」に4項目、「その他」に3項目、計11項目にわたる内容が盛り込まれました。

大坪会長は、予算確保の重要性を強調した上で、「質の改革を含む、教育環境改善を期待しています」と教育改革への強い思いを示しました。



要望書を受け取る角田市長（左から二人目）と近藤教育長（左）＝高岡市役所庁議室

これに対し、角田市長は、教育総合支援センターの設置計画、防災教育の推進、通学路の安全対策など、具体的な施策を説明した上で、「子どもたちの視点を大切に、誠実に取り組んでまいります」と決意を表明されました。

近藤教育長は、「いじめや不登校への対応強化に加え、若手教員の支援や保護者からの相談体制の充実にも注力します」と話し、教育現場の課題解決に向けた取り組みを強調されました。

要望書提出には、鶴井運営専務副会長、田中顧問、澤田総務担当副会長、吉本広報担当副会長、山川雄亮総務委員長も同席し、意見交換を行いました。

目次	Page
中学校ブロック別研修会	2
特集 共に学び、共に生きる～地域の防災力向上～	3
市P活動報告	4～5
各小中学校PTA紹介	5～6

要望書の全文は

こちらをご覧ください。

ください。



表紙写真は、「こどもまんなかフォトコンテスト」入賞作品『いいい』（戸出西部小1年 大島良太さん）

### 万葉小学校PTA



### お米を通じて学ぶ秋の特別講座

会長／成瀬 陽三

万葉小PTAでは毎年「お米について学ぼう」講座を秋の学習公開日に合わせて開催しています。今年は万葉小のすぐそばでカフェと農家を営むメイサンコーヒーの中山先生によるお米への情熱あふれる講演に始まり、臼と杵を使った餅つき、お米に関するO×クイズで全校生徒が田植えから収穫、調理までを楽しく学びました。

### 能町小学校PTA



### 学びとふれあいを大切に

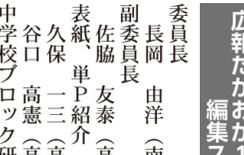
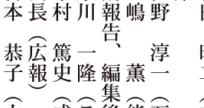
会長／水上 弘徳

能町小学校PTAでは、「教育の原点は家庭から」をスローガンに、会員が楽しく参加でき、学びある活動の推進を重点目標に、日々取り組んでおります。

今年度はPTA活動として、コロナ渦で自粛していた学習発表会での売店と、児童たちと一緒に遊ぶふれあいコーナー等を復活させました。

学習発表会での思い出として児童たちとPTA役員が触れ合えるいい機会になったと思います。

### 成美小学校PTA



### 地域と子どもたちを繋ぐ

会長／村中 昌美

成美地域交流センター（成美公民館）において、『子ども110番の家』統一表示看板の贈呈式を行い、感謝の気持ちを伝えました。この事業の助成金は、『富山県PTA連合会とやま子どもの笑顔支援事業』を活用させていただきました。これからも、成美校区の子どもたちと地域の方々と防犯、防災意識を高めていきたいと思っています。

### こまどり支援学校PTA



### 富山大学とコラボ！運動で親睦深める！

会長／沙魚川 真

本校は、執行部、生活委員会、文化教養委員会、広報委員会に分かれて活動しています。

文化教養委員会では、富山大学から講師をお呼びして「親子で体づくり運動」を開催しました。スカーフのトンネルを親子でくぐり抜けたり、パラバルーンを全員で高く膨らませて潜ったりと楽しい運動を通して、会員相互の交流を深めました。

### 高陵小学校PTA



### 新学期に向けた大切な行事

会長／村本 徹

高陵小学校PTAでは、毎年8月下旬に「夏休み親子清掃」を実施しています。

まずは通学路のゴミを拾いつつ、危険箇所や登校時の約束事を確認しながら、親子で登校します。

そして校舎内では、普段の清掃で子どもたちの手が届かない高い棚の上や、高窓のガラス、窓枠等を、先生方・子どもたち・保護者が協力してきれいにします。

気持ちよく2学期を迎えるための大切な行事として、これからも続けていきたいと思っています。

### 高陵中学校PTA



### 生徒の防災意識を高める

会長／松長 孝至

ペーパーレスの観点から広報誌を廃止。その代わりに、学校のホームページを活用し、情報を発信しています。

また本年の「子どもの笑顔支援事業」では、全生徒に「防災ポーチ」を配布。志貴野校下では昨年の豪雨や能登半島地震でも被害があったことから、今やすぐそこにある「災害」に備える意識を高めてもらうための思いを込めました。これは「朝のあいさつ運動」に合わせて行い、笑顔であいさつを交わしながら手渡しました。また消防士を講師に招いて「防災講習会」も行いました。

### 志貴野中学校PTA



### 家庭・学校・地域の架け橋として

会長／関本 尚彦

高陵中学校PTAは、子どもたちが主体的に取り組む活動を支援するとともに、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、学校行事への協力やボランティア清掃など、様々な活動に取り組んでいます。特に、歴史ある「高陵ばら園」の整備は、生徒会、地域、PTAが協力して取り組んでいる代表的な活動です。

今後も、家庭・学校・地域をつなぐ架け橋として、新しい時代にも対応したPTA活動を進めていきたいと考えています。

### 高陵学校PTA



### 心臓蘇生法講習会（11月6日）

主催：（公財）富山県PTA親子安全会  
共催：高岡市PTA連絡協議会

日本赤十字社富山県支部の林推進課長による、心肺蘇生法講習会が開催されました。

今回の講習では、5人1組のグループで実際の状況を想定した練習を行いました。

それぞれ役割があり、①倒れている人を発見して心肺蘇生を行う人、②119番に通報する人、③AEDを取りに行く人、④119番を受け取る消防署の人、⑤通りすがりの人という設定でした。

「あなた119番に通報してください」「あなたAEDを取ってきてください」といった指示を、大きな身振りやはっきりした声ですすことの重要性を改めて感じました。

研修で学んだことを活かし、地域全体が笑顔あふれるようなPTA活動を推進していきたいと思っています。

## INFORMATION

### 市P連活動報告②



心肺蘇生法講習会（11月6日）  
主催：（公財）富山県PTA親子安全会  
共催：高岡市PTA連絡協議会



第12回富山県PTA会員大会  
（11月30日）



第72回日本PTA全国研究大会  
川崎大会（8月23～24日）

「SMILE～笑顔であなたとつながりたい」というテーマで開催され高岡市P連及び各単Pから、48名が参加しました。

家庭、学校、地域が一体となり、子どもたちの笑顔を増やしていくことの大切さを改めて認識しました。

県内PTAの研究発表やパネルディスカッション、中室牧子慶応大学教授の「教育に科学的根拠を」と題した講演があり、新たな視点やアイデアを得ることができた、大変有意義な時間となりました。

前後左右4人1組のグループディスカッションが各セッションや各講演ごとに毎回おこなわれ、ご縁という種により、ウェルビーイングのシャワーを沢山浴びた2日間になりました。

監事 高橋 伸忠

「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」の力」をスローガンに、アクティブラーニングにより学びや体験を共有する、全員参加型の全国大会でした。高岡市P連から、6名が参加しました。

大人が幸せでウェルビーイングを実現することが、それを見ている子どもたちの幸せにつながると思えました。子どもたちに対し「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちを再認識していきたいと思いました。

INFORMATION 市P連活動報告①



親学び研修会 ～親学び 基本の“き”～ (11月27日)

とやま親学び小中推進スパーリーダーの吉川佳子先生を講師にお迎えし、日常で起こりうるエピソードを題材に、子育ての悩みや課題、子どもとの関わり方や親としての在り方について話し合いました。

研修会には、保護者や教職員など約60名が参加し、12のグループに分かれて、それぞれのテーマについて話し合いました。

スマホの使い方について話し合ったグループでは、「21時以降返信不可のアカウントだと明記させておく」「前頭葉が委縮するよ」と学校で学んだことを兄弟で教え合っていた」等の具体的な意見やアイデアが交わされました。

見学いただいた、富山県教育委員会生涯学習文化財室の宮林氏は、「ぜひ各校のPTAでも親学び研修を広めてください」と述べ、その効果に期待を寄せておられました。



教育環境委員会 SNSをきっかけとした犯罪の被害と加害の現状と対策 (11月13日)

教育環境委員会主催の講演会では富山県警察本部少年サポートセンターより串田君代氏を講師にお迎えし、「SNSをきっかけとした犯罪の被害と加害の現状と対策」という内容で講演会を開催しました。

SNSは便利な一方、子どもが犯罪やトラブルに巻き込まれるという問題もあります。トラブル防止のため、親として知っておきたい事やSNS利用に対する向き合い方について再確認できる講演会でした。

質疑応答では、参加者から具体的な疑問や意見が多く寄せられ、SNSに対する意識の高まりを感じました。

参加された多くの保護者の方々から情報発信できたことを嬉しく思います。講演会を通じ、子どもたちだけでなく保護者自身もリスク管理に繋げて頂けたら幸いです。

教育環境委員会 委員長 稲垣 徳彦



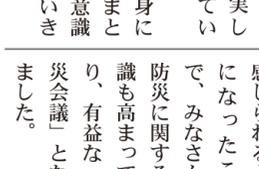
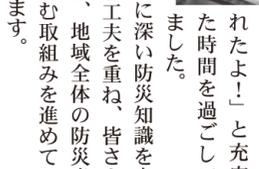
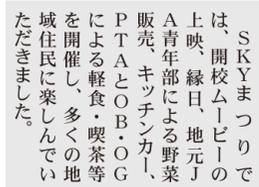
給食・保健委員会 石瀬共同調理場視察 (10月3日)

石瀬共同調理場で開催された、献立研究委員会の様子についてお伝えします。石瀬共同調理場では高陵中、志貴野中、芳野中、伏木中の4校、計1,810人分の給食が19名の調理員の方によって調理、提供されています。

安全でおいしい学校給食を適温で提供するために徹底した衛生管理がなされ、手作り給食の提供や栄養がしっかりと摂れる献立、地場産食材を使った給食の提供等の工夫がされています。

献立研究委員会では、栄養バランスを考えた献立の中に、地場産物を使用した「呉西な日!! (ゴーセイな日) 献立」等の特別献立を提供し、子どもたちが食料やその生産に興味を持ち、食の大切さを理解するための活動と推進を図っています。毎日、子どもたちのために安心・安全でおいしい給食を提供して下さる関係者の方々に感謝いたします。

給食・保健委員会 委員長 荒井 満



学校と地域が連携した、防災力向上に向けた取組みが本格化してきます。防災訓練の実施や、防災に関する情報発信など、多岐にわたる活動を通じて、地域全体で災害に強いまちづくりを目指しています。今号では、「富山県PTA連合会とやま子どもの笑顔支援事業」助成金を活用した各校の防災の取組み、市P連小・中学校部会が企画した防災会議の様子についてご紹介いたします。

開校イベントで防災体験 (10月5日) 学習発表会後に、開校記念イベント「SKYまつり」(S:西条,K:川原,Y:横田)を開催しました。このイベントでは助成金を活用し、防災に関する学びを深める活動を実施しました。段ボールベッドの組み立て体験では、「簡単に組み立てられた」「ジャンプしても壊れない」「寝心地が良い」といった感想が寄せられました。完成したベッドは小学校に寄付されました。

防災レースでは、①バケツリレーで水囊袋を満水にする、②毛布担架で負傷者に見立てたコロンを運ぶ、③段ボールキャタピラーの3種目が行われました。水囊袋は土囊より簡単に準備できる「毛布で担架が作れるのは驚き」といった声が聞かれる等、防災知識を深める良い機会となりました。

学習発表会場では児童が募金活動を行い、5年生企画の地域合同避難訓練での募金と合わせて約11万円を集めました。この寄付金は、能登地域の小学校復興に役立てていただくため、小学校、PTAを通じて寄付しました。小学校統合による新たな地域連携を模索する中、児童を中心に地域全体で防災意識を高める取り組みを推進していきます。

SKYまつりでは、開校ムービーの上映、緑日、地元J A青年部による野菜販売、キッチンカー、PTAとOB・OGによる軽食・喫茶等を開催し、多くの地域住民に楽しんでいただきました。

高岡西部小PTA会長 小林 徹也

特集 共に学び、共に生きる地域防災力向上

防災サバイバルスタンプラリー (10月5日)

小・中学校部会 (9月25日) PTAは地域と学校をつなぐ存在

小・中学校部会担当副会長 堀 誠史

今回の支援事業を通じて、全国のPTA会員の皆さまから寄せられた思いを受け止め、子どもたちが笑顔になれるイベントを企画しました。

その内容は、ゲーム感覚で楽しみながら災害や防災について学べる「防災スタンプラリー」です。校内4か所に地震、大雪、台風、避難をテーマとしたポイントを設置し、それぞれに災害や防災情報を説明する資料を掲示しました。

子どもたちは各ポイントでゲームを体験し、スタンプレを4つ集めることで「二塚小学校PTA公認防災マスター」の称号がもらえる仕組みです。

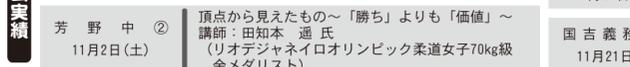
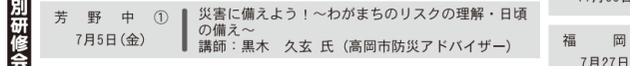
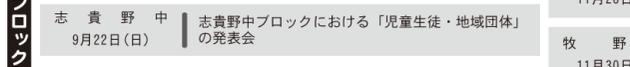
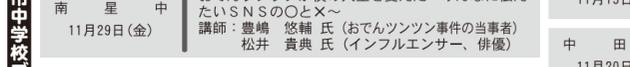
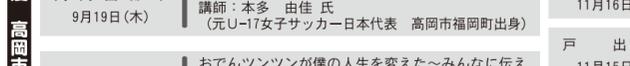
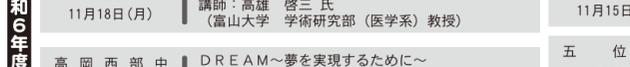
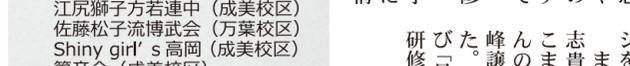
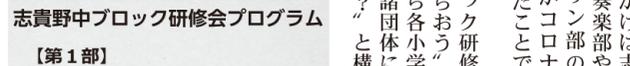
イベントを通じて、子どもたちは「楽しかった!」「記録を作れたよ!」と充実した時間を過ごしていました。

今後は、さらに深い防災知識を身に付けられるよう工夫を重ね、皆さまとも協力しながら、地域全体の防災意識を幼い頃から育む取り組みを進めていきたいと考えています。

その後、7グループに分かれて、「各学校の災害対策の取組み」をテーマに、グループディスカッションを行い、危険なエリアの相談や、各学校での取組みを話し合うことで、新たな学びにつながり、お互いの知識を共有することができました。

牧野中PTA会長の牧野崇さんは「PTAや連合自治会が、学校の危機管理マニュアルを知っておくのも大事だ」とも話しておられました。

災害が身近に感じられるようになったことで、みなさんの防災に関する意識も高まっており、有益な「防災会議」となりました。



広がる学び、つながる未来 ブロック別研修会

高岡市内PTAでは、中学校ブロックごとに、特色のある研修会を開催しています。その中で、志貴野中学校ブロック(志貴野中、万葉小、成美小、能町小、こまどり支援)では、学校と地域が一体となった、これまでにない形の研修会が開催されました。

児童生徒だけでなく、地域住民も積極的に参加し、共に学び、共に成長する場となりました。この研修会では、「子どもが輝く舞台を提供し、その感動を地域に発信する」です。きっかけは志貴野中学校の吹奏楽部やギター・マンドリン部の「定期演奏会」がコロナ禍で中止になったことで、だったらブロック研修会で披露してもらおう」となり、それなら各小学校区で活動する諸団体にも声をかけたら?と構

「これって研修会っていうよりフェスじゃない?」それはおおげさ!でも研修会っぽくないよね。どこからか、そんなやりとりが聞こえてきそうな志貴野ブロックの研修会になりました。コンセプトは「子どもが輝く舞台を提供し、その感動を地域に発信する」です。きっかけは志貴野中学校の吹奏楽部やギター・マンドリン部の「定期演奏会」がコロナ禍で中止になったことで、だったらブロック研修会で披露してもらおう」となり、それなら各小学校区で活動する諸団体にも声をかけたら?と構

想が膨らんでいきました。当日は、地域の方々による獅子舞や琴の演奏、民謡、ダンス、カポエイラなど盛りだくさんのパフォーマンスがありました。さらに中学生の代表による意見発表や自然科学部の発表と続き、最後はギター・マンドリン部、吹奏楽部が感動のステージを披露しました。また、会場後方には、志貴野中学校美術部や、こまどり支援学校の皆さんの作品展示に加え、高峰吉展も開催されました。約850人が足を運び「見て、聴いて、感じる」研修会を堪能しました。

「見て、聴いて、感じる」研修会

志貴野中PTA会長 松長 孝至

Table with 4 columns: ブロック名, 日時, 研修テーマ, 講師. Rows include 高陵中, 高岡西部中, 南星中, 志貴野中, 芳野中, 芳野中, 伏木中, 五位中, 戸出中, 中田中, 牧野中, 福岡中, 国吉義務教育.

令和6年度 高岡市中学校ブロック別研修会実績